

戸田市立笹目小学校

開校150周年クラウドファンディング

自然体験を核とした学校づくり

笹目小 実のなる木いっぱい！

フルーツロード



笹目小の実態

- ・開校150周年を迎え、歴史があり、子供見守り隊等の地域の協力が充実している。
- ・荒川沿いで豊かな自然に恵まれ、校庭も広く、のびのびと生活・学習ができる。
- ・明るく元気で素直な児童が多い。
- ・学力水準が国・県・市と比較して低い。
- ・全国学力学習状況調査の結果、自己肯定感は比較的高いが、社会とのつながりを実感する児童が少ない。



「自然体験活動」に特化した学校教育

～動植物とともに暮らす学校～

笹目小の実態から

・主体的に活動することを通して、思考力・判断力・表現力等を活用し、
実社会に生きて働く知識・技能を育んでいく。

・酪農（ヤギ飼育・笹目牧場）× 農業（実のなる木・野菜）

令和5年度実施

令和6年度 **フルーツロード**

- ・自然体験活動を主軸に置いたカリキュラム・マネジメント
- ・生活科・総合的な学習の時間等を中心に全教科と関連づける
- ・「学級総合の時間」を各学級で実施



人的支援を受けながら実社会とのつながりを実感

フルーツロード(果樹園)の活動を通して

興味関心→課題設定→日常活動→成果物活用→次年度引継

- ・栽培支援(地域住民・保護者)
- ・果樹園の管理・収穫(専門家・学校応援団)
- ・収穫物の活用(地元企業による商品開発)
- ・児童による販売(保護者・教職員・地域の青果店)

様々な方とのふれあい

